

法文学部

Faculty of Law and Literature

法経学科 / 社会文化学科 / 言語文化学科



人を知り、人を創る。

私たちは、他者との関わりを通して社会の規範や文化を身につけていきます。そして、他者との関わりは、私たちに自己という存在を強く意識させ発達させます。ヒトが人になるには、このような環境が必要です。人だけが経済活動を営み、社会、国家を作り、世界を繋ぎ、世界を紡いでいくのです。人を知り、人を創る技を磨くことが、社会を、国家を、世界を知ることに繋がっていきます。島根大学法文学部は、その「人を知る」大きな挑戦の場です。

法文学部

法経学科 (定員80名)

- 法学コース
- 司法特別コース
- 経済学コース

社会文化学科 (定員50名)

- 現代社会コース
- 歴史と考古コース

言語文化学科 (定員55名)

- 日本言語文化研究室
- ドイツ言語文化研究室
- 中国言語文化研究室
- フランス言語文化研究室
- 英米言語文化研究室
- 哲学・芸術・文化交流研究室

大学院 人文社会科学研究科

法経専攻 (定員6名)

- 法政コース
- 地域経済コース

言語・社会文化専攻 (定員6名)

- 言語文化コース
- 社会文化コース

■ 法文学部ホームページ

<http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>





法文学部の教育・研究の特色

法文学部では、高い倫理観と豊かな教養を身につけるとともに、基礎的専門知識を有し、現代社会や地域が抱える様々な問題を探求し、解決することのできる創造的・実践的能力を有する人材、地域社会の中核を担いえる人材を育成することを目的としています。

学部長からのメッセージ

人間の営みを探究しよう

江戸時代の作家井原西鶴は、「人はばけもの」と言いました。人間の心や行動は複雑多様でとらえがたい、しかし、そうだからこそ人間はこの上なく興味深い存在なのです。

人間は言語を使い、さまざまなことを考えます。そして相互につながり、社会をつくります。法文学部に備わる学問分野——法律学、経済学、社会学、地理学、文化人類学、歴史学、考古学、文学、言語学、哲学、芸術学などは、正にそういう営みについて探究するものです。

島根には、種々の新たな取り組みに挑戦している自治体や企業があります。一方で、出雲大社に代表されるような古い歴史と文化があります。ここは現代と過去の人間たちがクロスする場所です。この島根をフィールドにして学ぼうとする学生たちが、全国から、世界各国から法文学部に集まっています。あなたも、この輪の中に入ってみませんか。



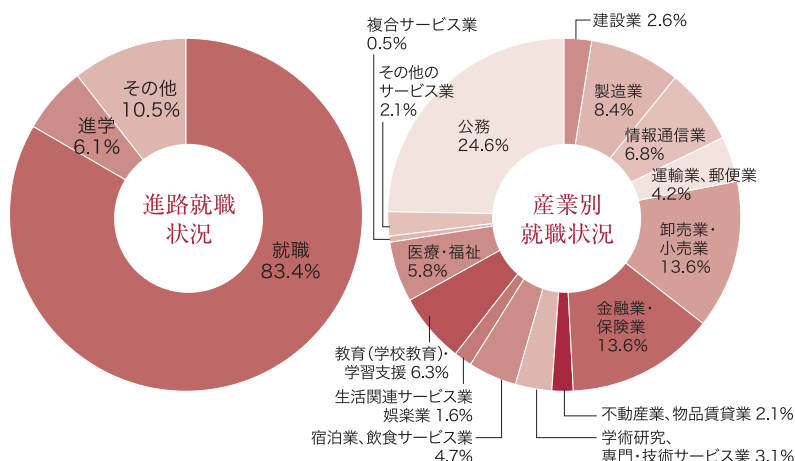
法文学部長
田中 則雄

履修モデル

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
法経学科	基礎科目			
	教養育成科目			
		専門基礎科目		専門応用科目
	入門演習	基礎演習		専門演習(卒業研究)
*3年次から希望に応じて法学コース、経済学コース、司法特別コースに分かれます。				
社会文化学科	基礎科目			特別研究
	教養育成科目			専門教育科目
*1年次の後期から現代社会コース、歴史と考古コースに分かれます。				
言語文化学科	基礎科目			特別研究
	教養育成科目			学科共通科目 / 学科専門科目
*2年次から日本語文化研究室、中国言語文化研究室、英米言語文化研究室、ドイツ言語文化研究室、フランス言語文化研究室、哲学・芸術・文化交流研究室に分かれます。				

DATA BOX

進路データ



主な就職先 (平成30年3月卒業生)

日本航空、楽天、NHK、サイバーエージェント、第一生命保険、山陰放送、京都きもの友禅、近畿日本ツーリスト、国立病院機構中四国グループ、富士通、帝国ホテル、京都吉兆、山口フィナンシャル・グループ、愛媛銀行、鳥取銀行、国際経営、西日本フード、倉敷ケーブルテレビ、寿製菓、池田糖化工業、アヲハタ、ソニーリージョナルセールス、タマノイ酢、チューリッヒ、エディオン、ウチダレック

千葉県公立学校、静岡県公立学校、京都府公立学校、香川県公立学校、岡山地方裁判所、鳥取地方法務局、徳島地方検察庁、広島県庁、岡山県警察、福岡県警察、名古屋役所、栃木市役所、鳥取市役所、大山町職員【地元企業等】山陰合同銀行、山陰中央新報社、出雲村田製作所、東京海上日動火災保険山陰支店、日本銀行松江支店、島根銀行、しまね信用金庫、一畑電気鉄道、皆美グループ、一条工務店山陰、一畑トラベルサービス、西川病院、キヌヤ、サクラサクセス、テクノプロジェクト、島根大学、島根県公立学校、松江地方裁判所、島根県庁、島根県警察、松江市役所、出雲市役所、安来市役所

主な進学先 (平成30年3月卒業生)

島根大学大学院、北海道大学大学院、名古屋大学大学院、京都大学大学院、九州大学大学院、広島大学大学院、岡山大学大学院、関西大学大学院、南山大学法科大学院

*順不同。就職先・進学先には大学院修了者を含めない。

法経学科

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- 中学校教諭一種免許状(社会) ●学芸員

新しい時代、新しい法学・経済学

法経学科では、法学と経済学の両面から、変化する現代社会について学びます。

私たちが暮らす地域社会は急速なグローバル化の進展とともに、多くの課題を抱えています。また、市民生活という点でも、基本的人権にかかわる問題がますます重要性を高めています。法経学科は、これらの課題解決に必要とされる知識と応用力を身につけ、分析能力・政策立案能力や問題処理能力を養います。

3つのコース

法経学科には3つのコース(「法学コース」「経済学コース」「司法特別コース」)があり、3年次に希望するコースを自由に選ぶことができます。1・2年次はコースに関わらず、法学と経済学の基礎を万遍なく学び、3年次以降、「法学コース」の学生は法学を、「経済学コース」の学生は経済学を中心に学びます。また「司法特別コース」は、法科大学院(ロースクール)への進学や法律専門職を目指す学生のために設けられています。



入門演習

法経学科1年生は、全員、10数名ずつに分かれて「入門演習」に所属し、教員と一緒に基礎的な研究方法等を学びます。また、この演習では、図書館講習をはじめ学内施設の利用の仕方を学び、大学生活を健康でアクティブに送る方法を体得します。さらに、活動の場は学内にとどまらず、松江地方裁判所や日本銀行松江支店の見学にも出かけます。このように、初年度の間に法律学と経済学の学び方のイロハを身につけていきます。



授業紹介

刑事手続法

刑事手続とは、犯罪捜査や刑事裁判をどんな風に進めるか、ということを決めたものです。普段の生活で見聞きするのは、どんな事件が起こったのか、いつ裁判が始まったか、どんな判決が出たか、などではないでしょうか。講義では、事件発生から判決が出るまでの、一連の流れを順番に説明していきます。犯人と疑われた人をどのように扱うのか、刑事事件をどのように解決しているのかについて、見方が変わってくると面白いと思います。



高橋 正太郎

- 専門分野/刑事訴訟法
- 研究テーマ/刑事上訴論

福祉経済論

国民生活の安定は国民経済にとって重要な要因です。国民生活の安定は社会保障や企業福祉の充実に大きく依拠しますが、少子・高齢社会の到来は制度の見直しを迫っています。受給者が増え給付費用は増大するが、負担する人々は減少するなかで、社会保障改革が国民生活と国民経済に影響を与えるので、福祉と経済の両面から公正さが求められます。福祉経済論では、年金、医療、介護、子育て支援等の福祉政策に影響を与える経済社会構造の変化・国民経済との関連について考えます。



宮本 恭子

- 専門分野/社会保障、社会政策
- 研究テーマ/持続可能な社会保障制度、社会保障制度と地域政策、貧困・格差問題

在学生の声



法経学科 4年
林 克弥

幅広い選択肢の下で学べる環境

法経学科は、その名の通り、法学と経済学の双方を学ぶことができる学科です。私がこの学科を選んだ理由は、法学・経済学のどちらにも関心があったため、双方を学ぶことができ

る環境に魅力を感じたからです。現在、私は行政学ゼミに所属し、地域の人たちと協働して、様々な活動を行っています。与えられた選択肢が広いからこそ、自分のやりたいこと

を見つけることができ、充実した大学生活を送ることができているのだと感じています。

法学・経済学に関心のある方はもちろん、自分の選択肢を狭めたくない方、自分のやりたいことが見つからず悩んでいる方、ぜひ法経学科と一緒に学んでみませんか。

社会文化学科

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史、公民)
- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 学芸員 ●社会調査士 ●地域調査士

人と社会の調和と発展

社会文化学科では、社会、歴史、そして文化について、調査や実習等を通じて体系的かつ体験的に学ぶことを重視します。学生の皆さんは1年生の後期から、現代社会コース、歴史と考古コースに分かれてそれぞれ専門分野について学びつつ、多様な視角から論理的に物事を考えて分析し、自らの考えを説明する力の習得を目指します。

現代社会コース

人間の行動や活動、家族や地域等の身近な社会からグローバルな社会、私たちの生活環境、そして民俗や伝統、文化についての問題を、社会学・地理学・文化人類学の立場から考え説明する力を身につけることを目指します。どの学問分野を主軸として学ぶにせよ、講義を聴いたり専門書を講読したりすることに加え、社会調査やフィールドワーク等の実習を通して、データ収集と分析方法を実践的に習得することができます。



歴史と考古コース

歴史と考古コースは、歴史学と考古学の2分野からなります。歴史学では、日本史・東洋史・西洋史・現代史について専門的に学びます。考古学では、日本列島を中心に東アジアを対象に学びます。幅広い視野から歴史学・考古学を学ぶことによって、理論と実地調査に関する認識を培うことを目指しています。研究室は学生によって自主的に運用されており、テーマを選んで主催される自主ゼミのほか、研修旅行等も毎年企画しています。



授業紹介

文化人類学実習

文化人類学専攻の3年次の授業で、研究テーマの調査地の選択、事前準備などは、すべて自分たちで行います。ここ数年の実習先は島根県のほか、山形県、岩手県、香川県などです。秋以降、採取したデータを分析し、論文を執筆します。求められるレベルは高いですが、それでも苦悶して書き上げた論文が「実習報告論文集」として刊行されると、達成感もひとしおです。こうして身につけた技術が翌年の「卒業論文」に活かされることとなります。



福井 栄二郎

- 専門分野／社会人類学
- 研究テーマ／オセアニア地域における観光、ケア、歴史

歴史学専修演習

2年次生を対象とするこの演習は、受講生が研究班を組み1年間のグループ学習を行います。国内外の文献購読や文化遺産の調査などを通して、文献検索やプレゼンテーション、成果報告作成の手法を学び、歴史学研究の基礎を幅広く修得することを目的としています。同期生との長期にわたるグループ学習からは、読解力・構想力・表現力などの大学での仲間との学び合いを体験することができるでしょう。



板垣 貴志

- 専門分野／日本近現代史(近代日本農業史・農村史)
 - 研究テーマ／日本近現代における畜産や家畜に関する諸問題、山陰地域の近代化過程に関する研究、日本近現代農村に現存する民間所在資料活用論の構築等
- (専修演習は、日本史・東洋史・西洋史・現代史の全教員6名が担当)

在学生の声



社会文化学科 4年
石飛 美紅

知的好奇心を最大限に

私が専攻する歴史学は、何かを知るためには不可欠な学問だと思っています。歴史なくして、物事を知ることはできません。歴史学を通して培った思考力、読解力、構想力などは大

学、日常生活、将来にも生きていくものだと思います。

大学では専攻分野以外にも、自分が興味を持った学問を学ぶことが出来ます。地理学や経済学などの様々な学問と、専攻の学問とを結びつけて考えることでまた新たな発見があり、研

究の末自分なりの結論を導き出した時は沸き立つような喜びとなるでしょう。自分の好奇心・探求心を最大限に発揮することが出来るのが大学です。

これまでの価値観が変わる、そんな時間をここで過ごしてみませんか。

言語文化学科

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(国語、英語)
- 中学校教諭一種免許状(国語、英語)
- 学芸員

言葉は世界の扉をひらく

言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年以降、所属する研究室を自由に選べます。自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、論理的に思考を表現する力を身につけ、表現力や語学力を高めていきます。



日本言語文化研究室

日本語については、歴史、文法、音韻、方言などについて幅広く学びます。

文学については、物語、和歌、小説など古代から現代に至る文学作品を詳しく学びます。実際に絵巻物、江戸時代の写本、明治期の小説初版本にふれる実践的な授業を行うほか、作品の理解を深めるための研修旅行も行われ、楽しくかつ真剣に学問に取り組んでいます。

中国言語文化研究室

神話や甲骨文字の時代から現代に至るまで、テキストを原文で読み、直接中国の言葉や文学、そして背景にある文化や思想を学びます。

また、学生に現実の中国も体験してもらえよう、希望者には短期研修及び長期留学の支援も行っています。

英米言語文化研究室

16世紀イギリスの詩から21世紀のアメリカ小説に至る文学作品を鑑賞しながら分析方法を学び、日米文化を比較することで異文化理解を深めます。また、英語そのものの性質についてさまざまな観点から研究するとともに、英語を母語とする教員を中心に発信型の英語コミュニケーション能力の向上を目指します。

姉妹校への語学研修や留学には、毎年多くの学生が参加しています。

ドイツ言語文化研究室

中世から近現代に至る多様な作品の歴史的な縦系と、スイス・ドイツ・オーストリアに至る広大な文化空間の横系で紡がれるドイツ言語文化圏の豊かな織物の世界を学びます。

異なる文化・思想・文学の世界に触れて言葉への関心を深め、今までの自己を見つめ直す柔軟な感性を育成して、新たな「自己形成 Bildung」の道を模索していきましょう。

フランス言語文化研究室

フランスの文芸作品、フランス語の特性、世界に広がるフランス語圏の文化や社会について広い視野で学びます。さらに、アジア、英米、ドイツなど異なる言語文化圏と比較することから、言語と文化の関係を考察します。

多くの国際機関や産業界で幅広く使われているフランス語の運用能力を身につけ、異文化を理解する豊かな感性を養い、国内外での活躍を目指しましょう。

哲学・芸術・文化交流研究室

哲学・芸術・文学・映画・音楽などの文化活動や、人間がさまざまな場面で織りなすコミュニケーションを研究し、文化を理解するための視点と技術を身につけます。また、映画制作などの表現活動の実習もおこないます。

文化の「読み方」と「作り方」の両方を、哲学・芸術学・文化交流論の授業を通じて、実践的に学んでいきます。

授業紹介

ドイツ文化応用演習Ⅲ

グリム童話、エンデやケストナーの児童書を読んだことはありませんか。また文学好きならカフカの名前は聞いたことがあるでしょう。昨年度扱ったのがこうした作家の作品です。ドイツ語原文なので、最低限の文法は必要です。しかし文法知識以上に、文脈から論理的に推理し理解する、という基礎的な思考力が重要です。言葉に注意を向け考える習慣が身につくよう、この授業ではドイツ語のテキストを丁寧に読み解いてゆきます。

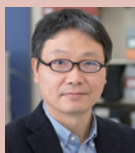


山崎 泰孝

●専門分野／ドイツ文学
●研究テーマ／1900年前後のドイツ語圏の文学

共通演習Ⅰ(映画製作)

私たちはしばしば「映画より、原作のほうがよかった」「原作と全然ちがった」という言葉を口にします。でもこれはよく考えれば当たり前のことです。二つは全く別のメディアなものです。もちろん、物語を語るという点は両者とも同じです。でも、文学と映画では語ることができる話も語り方も全然違うのです。「じゃあそれはどう違うの？」映画を作ることで、普段は透明な映像メディアについて考えましょう。



伊集院 敬行

●専門分野／芸術学
●研究テーマ／映像論

中国言語文化論講義Ⅰ (中国語学文学講義Ⅰ)

現在お隣の中国では村上春樹、伊坂幸太郎など日本の作家の作品が大量に翻訳され、読まれています。一方中国の作家の作品は日本ではあまり読まれていないのが現状です。この授業ではまず1980～90年代に活躍した中国の作家の作品を精読し、日本とは異なる環境で生まれた文学、そしてその背景にある中国社会や文化について理解と関心を深めていきます。また作品を映画化したものも見ていただいて「中国の今」を体感していただきます。



内藤 忠和

●専門分野／中国文学
●研究テーマ／中国現代文学・現代文化

在学生の声



言語文化学科 4年
和田 聖貴

大学での学び

私は主に哲学を学んでいます。日頃私たちは目の前の人に心があると思って過ごし、美術館に展示品があれば何かしらの価値があるのだろうなと思っています。しかし、他人の心

や作品の価値がどこにあるのか、などと考えると確かに存在しているか疑問になってきます。

大学は高校までとは違い、そんな曖昧なものをどのようにしていけば、確かなものにしていけるかを考える場でもあると思います。授業では、そん

な曖昧なものを真剣に考えてきた人々のテキストを読み、意見を交わして考えていきます。様々な角度から自身の興味関心について考えていけると思うので、日頃のちょっとした疑問に目を向けてみてください。

研究室紹介

地理学研究室

地域社会を読み解く

教員の声

地域社会を読み解く

近年「地域の活性化」なる言葉が世の中のキーワードとなってきました。地域を活性化するためには、まず、それぞれの地域の政治、経済、社会、文化、歴史などの特徴を分析し、また地域社会を俯瞰的に捉える能力が必要となってきます。研究室では、講義や演習を通じて、日本や世界の地域の多様性を学ぶ視点や、多様で複雑な地域社会を分析する方法論を学ぶだけでなく、学生の出身地以外の都道府県へフィールドワークに毎年出かけ、学生自身が調査テーマを設定し、調査計画を立て、報告書をまとめて、地域社会の特徴を読み解く能力を身に付けています。



地理学研究室
船杉 力修 教授

在学生の声

地理学を楽しむ

私は大学で歴史地理学を学びたいと思い地理学研究室に入りました。昨年は京都府へフィールドワークに出かけ、京都市にある淀城下町の空間分析・景観の復原を古地図や文献を用いて行いました。現地での聞き取り調査やGISを用いた地図の作製・分析などから、過去にどのような経緯で町が変化したのかなど、知らない地域を知る楽しさを学びました。地理学研究室での講義やゼミは、皆さんが「勉強」ではなく「学び」の楽しさを知るきっかけになるかもしれません。



社会文化学科 3年
乃木 健太郎

卒業生の声

充実した研究環境

卒業論文として九州北部における海陸風を調査しました。現地でデータを集め、研究室で分析し、ゼミで議論するという作業を通して、論文の書き方だけでなく、物事の見方やプレゼン能力も磨かれたと思います。地理学研究室には充実した設備と広範な領域をカバーした先生方がおり、非常に恵まれた環境にあります。また、自主ゼミや実習での実地調査も盛んに行われています。この恵まれた環境を十分に活用して、自分の可能性を広げる時間にしてください。



社会文化学科
2015年3月卒業
田中 岳人

教員一覧

●法経学科

[法 学]

江淵 武彦 教授(民法)
居石 正和 教授(法制史)
池田 有日子 准教授(政治学)
毎熊 浩一 准教授(行政学)
永松 正則 准教授(行政法)
嘉村 雄司 准教授(商法)
谷口 智紀 准教授(税財政法)
黒澤 修一 准教授(憲法)
高橋 正太郎 講師(刑事手続法)
大庭 沙織 講師(刑法)
[経済学]
伊藤 光雄 教授(金融論)
野田 哲夫 教授(情報経済論)
石川 健 教授(経済理論)

上國 昌武 教授(環境経済学)
宮本 恭子 教授(福祉経済論)
飯野 公央 准教授(経済政策論)
藤本 晴久 准教授(地域経済論)
渡邊 英俊 准教授(国際経済論)
関 耕平 准教授(財政学)

●社会文化学科

[現代社会]

吹野 卓 教授(社会学)
片岡 佳美 教授(社会学)
猿渡 壮 講師(社会学)
船杉 力修 准教授(地理学)
菊池 慶之 准教授(地理学)
出口 顕 教授(文化人類学)
福井 栄二郎 准教授(文化人類学)
[歴史と考古]
大日方 克己 教授(日本史学)
小林 准士 教授(日本史学)

板垣 貴志 准教授(現代史学)
丸橋 充拓 教授(東洋史学)
佐々木 愛 教授(東洋史学)
渋谷 聡 教授(西洋史学)
大橋 泰夫 教授(考古学)
岩本 崇 准教授(考古学)
平郡 達哉 准教授(考古学)
及川 穰 准教授(考古学)

●言語文化学科

[日本語文化研究室]

武田 信明 教授(日本文学)
田中 則雄 教授(日本文学)
浅田 健太郎 教授(日本語学)
野本 瑠美 准教授(日本文学)
野間 純平 講師(日本語学)
[中国言語文化研究室]
戸崎 哲彦 教授(中国語学中国文学)
要木 純一 教授(中国語学中国文学)

内藤 忠和 准教授(中国語学中国文学)
[英米言語文化研究室]
渡部 知美 教授(アメリカ文学)
Menking, Scott R. 教授(英語教育学)
小原 真子 准教授(意味論)
小林 亜希子 准教授(統語論)
CHEYNE, Peter 准教授(イギリス文学)
宮澤 文雄 講師(アメリカ文学)
[フランス言語文化研究室]
金山 富美 教授(フランス文化)
安齋 有紀 准教授(フランス語学)
[ドイツ言語文化研究室]
山崎 泰孝 准教授(ドイツ文学)
[哲学・芸術・文化交流研究室]
西田 兼 准教授(芸術学)
田中 一馬 准教授(哲学)
伊集院 敬行 准教授(芸術学)
前田 しほ 准教授(文化交流論)
浜田 幸絵 准教授(文化交流論)